

# 3月1日(水)～7日(火)は春季全国火災予防運動

## 身近にある生活家電に起因する火災と予防対策

春季火災予防運動が火災の発生しやすいこの時季に行われます。この春から新しい生活が始まる人も多いと思いますので、今回は身近にある生活家電が原因で起こる火災と、その予防対策についてご紹介します。

富士山南東消防本部予防課 ☎972-5802

### 火災予防運動の目的

- 火災予防意識の普及
- 火災発生の防止
- 逃げ遅れなどによる死者を防ぐ
- 火災による財産の損失防止

### クリップライト、間接照明器具

～白熱電球発光時の表面温度は100℃以上～

近年ではLED電球などに置き換わりつつあるものの、白熱電球が放つ暖かみのある光や調光が可能であることで、まだまだ身のまわりには多くの白熱電球が見かけられます。

電球部分に布団や洗濯物などの可燃物が接触し、蓄熱状態が続くことで出火することがあります。

#### 予防対策

- 電球や照明器具等は転倒、落下しないように安定した場所に設置する。
- 布団や衣類など、燃えやすいものを近くに置かない。

### 蛍光灯

～節電の今こそ危険を察知するチャンス～

蛍光灯は、白熱電球に比べてランプ自体の発熱は少ないものの、点灯させるために必要な安定器という部品に注意が必要です。

安定器は、絶縁されたエナメル線を巻き付けたコイルが使われていて、古くなるとエナメル線がショートして出火することがあります。

#### 予防対策

次のような症状があったときは、直ちに使用を中止し、器具の交換等を検討する。

- 異音や異臭がする。
- ランプがちらつく。
- 異常な発熱がある。

### エアコン

～意外と知られていない掃除時の注意点～

エアコンは、室内機にある熱交換器で冷やされた空気や温められた空気を室内に送っています。この熱交換器がほこりなどで汚れると、熱をうまく伝えられず、運転効率が低下します。

この熱交換器を清掃するために、市販の洗浄スプレー等を使用し、誤って温度調整を制御する基板などの電気部品に洗浄液をかけてしまうと、ショートして出火することがあります。

#### 予防対策

市販の洗浄スプレー等を使用するときは、注意書きをよく読み、洗浄液等が電気部品にかからないように注意する。

### 扇風機

～古くなった物を使用するときには要確認～

扇風機は、モーターで羽を回転させて風を作り出すという、比較的簡単な構造です。しかし、古くなると、モーターのコイルやコンデンサーの内部回路がショートして出火することがあります。

#### 予防対策

次のような症状があったときには、直ちに使用を中止する。

- スイッチを入れても回らない。
- 羽の回転速度が遅い、不安定
- 異音、異常な振動や焦げくさい臭いがする。
- モーター部分の異常な発熱

みなさんのご家庭にある生活家電を確認し、火災予防対策を行うとともに、火災の覚知を早める住宅用火災警報器の設置と定期的な点検を行きましょう。